

科目名	地域設計 I	英語科目名	Regional Design I		
開講年度・学期	28 年度・前期	対象学科・専攻・学年	複合工学専攻1年		
授業形態	演習	必修 or 選択	選択		
単位数	2単位	単位種類	学習単位(30+15)h		
担当教員	橋本彼路子	居室(もしくは所属)	建築学科棟2階		
電話	内線 830	E-mail	hashimoto@oyama-ct.ac.jp		
授業の到達目標		授業到達目標との対応			
		小山高専の 教育方針	学習・教育 目標(JABEE)	JABEE 基 準要件	
		1. 地域・地区の分析方法を説明できる	④	B	e
		2. 地域・地区の分析を通じ、必要機能とデザインの整合性等を含め、まち づくりの観点から設計ができる。	④	B,	e
		3. 多様な居住のスタイルを説明できる	④	B	e
		4. 居住スタイルに伴った新しい住まいの形態を説明できる	④	B	e
		5. 地域特性を加味した居住スタイルと形態を提案できる	④	B,○	e
6. 自身の提案を、図面と模型のプレゼンテーションによつて的確に表現で きる	④	B	e		
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法					
達成目標 1～6 について、口頭発表及び提出作品の内容を評価し、60%以上の成績で達成とする。					
評価方法					
課題提出物70%、レポート30%					
授業内容		授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間	
1. 地域に住まうということ 課題説明				4	
2. 多様な居住スタイルの実例を知る： コレクティブハウス、グループリビング、古 民家再生、ホスピス、終の住まいなど。		授業で得た知識と地域の分析を基に、設計コンセプトを 定め、授業内で発表する。		6	
3. 地域に住まうための提案をする		平面図、立面図、断面図、模型などを作製し、毎週提出 する。		15	
4. プレゼンテーション		プレゼンテーションボードを作成し提出する		5	
5. 発表・講評					
自学自習時間合計				30	
キーワード	多様性、地域性、居住スタイル、プレゼンテーション				
教科書	なし				
参考書					
カリキュラム中の位置づけ					
前年度までの関連科目		インテリアデザイン、建築計画ⅠA、建築計画Ⅱ、建築計画Ⅲ、建築法 規			
現学年の関連科目		居住地計画論、環境デザイン論			
次年度以降の関連科目		バリアフリーデザイン論			
連絡事項					
実践的な設計能力を身につける。Vectorwor 学生単年度版の購入が必須。家族の構成、社会状況、人々の要求は日々変 化をしている。住まい方も世界中でさまざまな形態が生まれている。住環境の多様な価値観と人々のニーズを理解し、それ らを満足する提案をする。					
シラバス作成年月日	2016 年 2 月 25 日				